

第78回 簿記実務検定第 3 級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	小	口	現	金	当	座	預	金	受	取	手	形
売	掛	金	有	価	証	券	建		物	支	払	手	形
買	掛	金	資	本	金	引	出	金	売				上
有価証券売却益			仕		入	発	送	費	租	税	公	課	
有価証券売却損			現	金	過	不	足						

- a. 高知商店では定額資金前渡法を採用することとし、小口現金として小切手 ¥40,000 を振り出して庶務係に渡した。
- b. 愛媛商店に商品 ¥170,000 を売り渡し、代金は掛けとした。なお、発送費 ¥8,000 は現金で支払った。
- c. 現金の実際有高を調べたところ、実際有高が帳簿残高より ¥9,000 多かったので、帳簿残高を修正して、その原因を調査することにした。
- d. 店舗用に建物 ¥4,000,000 を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。なお、登記料と買入手数料の合計額 ¥260,000 は現金で支払った。
- e. 鹿児島商店に対する買掛金の支払いとして、さきに得意先佐賀商店から受け取っていた約束手形 ¥352,000 を裏書譲渡した。
- f. 売買目的で保有している徳島商事株式会社の株式10株（1株の帳簿価額 ¥80,000）を1株につき ¥81,000 で売却し、代金は当座預金口座に振り込まれた。
- g. 事業拡張のため、事業主が現金 ¥500,000 を追加元入れした。
- h. 営業用の土地と建物に対する固定資産税 ¥120,000 を現金で納付した。

2

香川商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

6月20日 高松商店から商品の注文を受け、内金として現金 ¥30,000 を受け取った。

(伝票番号 No. 5 /)

〃 日 坂出広告社に広告料 ¥70,000 を小切手#19を振り出して支払った。

(伝票番号 No. 68)

3

長崎商店の下記の取引について、

(1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の当座預金勘定と買掛金勘定に転記しなさい。

(2) 仕入帳と買掛金元帳に記入して締め切りなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳の小書きは省略する。

iii 元丁欄には、当座預金勘定と買掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

/月 8日 大分商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A 品 500個 @¥700 ¥350,000

B 品 300〃 〃 〃 800 ¥240,000

9日 大分商店から仕入れた上記商品の一部に品質不良のものがあったので、次のとおり返品した。

なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。

A 品 10個 @¥700 ¥ 7,000

/4日 熊本商店に次の商品を売り渡し、代金のうち ¥60,000 は同店振り出しの小切手#9で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。なお、残額は掛けとした。

A 品 400個 @¥900 ¥360,000

/7日 宮崎商店に対する買掛金の一部 ¥180,000 を小切手#6を振り出して支払った。

22日 宮崎商店から次の商品を仕入れ、代金の一部については、下記の約束手形#13を振り出して支払い、残額は掛けとした。

C 品 650個 @¥740 ¥481,000

No. 13 約 束 手 形

宮崎県宮崎市和知川原3-24
宮崎商店 宮崎 太郎 殿

収 入
印 紙

200円

長崎

金額

¥250,000

支払期日 平成〇年 2 月 22 日

支払地 長崎県佐世保市

支払場所

株式会社 全商銀行佐世保支店

長崎 4201
0149-042

上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引き替えにお支払いいたします

平成〇年 1 月 22 日

振出地 長崎県佐世保市吉岡町863-3

住所

振出人 長崎商店

長崎 一郎 (長崎)

4

次の各問いに答えなさい。

- (1) 次の文の にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

企業の一会計期間の収益と費用の内容を示した報告書を損益計算書という。企業がこれを作成するのは、一会計期間の を明らかにするためである。

1. 取引の明細 2. 財政状態 3. 経営成績

- (2) 次の文の に入る金額を求めなさい。

松山商店（個人企業）の期首の負債総額は ¥1,340,000 であり、期末の資産総額は ¥6,230,000 負債総額は ¥1,500,000 であった。なお、この期間中の費用総額は ¥7,940,000 で当期純利益が ¥580,000 であるとき、収益総額は ¥ a で、期首の資産総額は ¥ b である。

- (3) 福岡商店は、下記のとおり移動平均法によって商品有高帳を記帳している。よって、

a. 商品有高帳の（ア）に入る金額を求めなさい。

b. 6月中のA品の売上原価を求めなさい。ただし、6月中に仕入戻し・仕入値引・売上戻りはない。

商 品 有 高 帳										
(移動平均法)										
品 名 A 品										
単位：個										
平成 ○年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
6	/ 前 月 繰 越	250	380	95,000				250	380	95,000
	9 小 倉 商 店				150	()	()	100	380	38,000
	25 博 多 商 店	300	420	126,000				()	(ア)	()
	30 次 月 繰 越				()	()	()			
		550		221,000	550		221,000			

5 沖縄商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 決算整理仕訳を示しなさい。
- (2) 売上勘定に必要な記入をおこない、締め切ちなさい。ただし、勘定記入は、日付・相手科目・金額を示すこと。
- (3) 貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現 金	¥ 469,000	当 座 預 金	¥ 1,381,000	売 掛 金	¥ 1,900,000
貸倒引当金	4,000	繰 越 商 品	420,000	前 払 金	192,000
備 品	700,000	支 払 手 形	526,000	買 掛 金	978,000
借 入 金	600,000	資 本 金	2,500,000	引 出 金	60,000
売 上	8,146,000	受 取 手 数 料	90,000	仕 入	5,703,000
給 料	1,260,000	支 払 家 賃	540,000	保 険 料	108,000
消 耗 品 費	68,000	雑 費	19,000	支 払 利 息	24,000

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥470,000
- b. 貸倒見積高 売掛金残高の3%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ¥840,000 残存価額は零（0） 耐用年数6年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

- d. 引出金勘定の ¥60,000 は整理する。

第78回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [答案用紙]

1	借	方	貸	方
a				
b				
c				
d				
e				
f				
g				
h				

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	5 得点	総得点
---------	---------	---------	---------	---------	-----

試験場校	受験番号

(2) (注意) 仕入帳と買掛金元帳は締め切ること。

[illegible][illegible][illegible]

4 (1)

(2)	a	$\neq$	b	$\neq$
-----	---	--------	---	--------

(3)	a	$\neq$	b	$\neq$
-----	---	--------	---	--------

2
得点

3
得点

4 得点	
---------	--

5

(1)	借	方	貸	方
a				
b				
c				
d				

- (2) (注意) i 売上勘定の記録は、合計額で示してある。
 ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

売	上	13
90,000	8,236,000	

- (3) 貸 借 対 照 表
 沖縄商店 平成○年/2月3/日

資	産	金	額	負債および純資産	金	額
現	金			支 払 手 形		
当 座 預 金				買 掛 金		
売 掛 金 ()				()		
貸 倒 引 当 金 ()				資 本 金		
()				()		
前 払 金						
備 品						

5
 得点

第78回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [解 答]

1	借 方		貸 方	
a	小 口 現 金	40,000	当 座 預 金	40,000
b	売 掛 金	170,000	売 上	170,000
	発 送 費	8,000	現 金	8,000
c	現 金	9,000	現 金 過 不 足	9,000
d	建 物	4,260,000	当 座 預 金	4,000,000
			現 金	260,000
e	買 掛 金	352,000	受 取 手 形	352,000
f	当 座 預 金	810,000	有 価 証 券	800,000
			有価証券売却益	10,000
g	現 金	500,000	資 本 金	500,000
h	租 税 公 課	120,000	現 金	120,000

2	入 金 伝 票				出 金 伝 票			
	平成〇年 6 月 20 日				平成〇年 月 日			
	科目	前 受 金	入金先	高 松 商 店 殿	科目	支 払 先	金 額	殿
	摘 要		金 額		摘 要		金 額	
	商品代金の内金受け取り		3 0 0 0 0					
	合 計		3 0 0 0 0		合 計			

振 替 伝 票				No. 68			
平成〇年 6 月 20 日							
勘 定 科 目	借 方	勘 定 科 目	貸 方	勘 定 科 目	借 方	勘 定 科 目	貸 方
広 告 料	7 0 0 0 0	当 座 預 金	7 0 0 0 0	当 座 預 金	7 0 0 0 0	当 座 預 金	7 0 0 0 0
合 計	7 0 0 0 0	合 計	7 0 0 0 0	合 計	7 0 0 0 0	合 計	7 0 0 0 0
摘要 坂出広告社に広告料支払い 小切手# 19 振り出し							

3	(1) 仕 訳 帳				1			
	平成〇年	摘要	元 丁	借 方	貸 方	平成〇年	摘要	元 丁
	/ /	前期繰越高	✓	4,930,000	4,930,000	/ /	前期繰越高	✓
	8	(仕 入)		590,000		8	(仕 入)	
		(買 掛 金)	15		590,000		(買 掛 金)	15
	9	(買 掛 金)	15	7,000		9	(買 掛 金)	15
		(仕 入)			7,000		(仕 入)	
	14	諸 口 (売 上)			360,000	14	諸 口 (売 上)	
		(当 座 預 金)	2	60,000			(当 座 預 金)	2
		(売 掛 金)		300,000			(売 掛 金)	
	17	(買 掛 金)	15	180,000		17	(買 掛 金)	15
		(当 座 預 金)	2		180,000		(当 座 預 金)	2
	22	(仕 入) 諸 口		481,000		22	(仕 入) 諸 口	
		(支 払 手 形)			250,000		(支 払 手 形)	
		(買 掛 金)	15		231,000		(買 掛 金)	15

総 勘 定 元 帳				2			
当 座 預 金							
平成〇年	摘要	仕 丁	借 方	平成〇年	摘要	仕 丁	貸 方
/ /	前期繰越	✓	937,000	1 17	買 掛 金	1	180,000
14	売 上	1	60,000				

買 掛 金				15			
平成〇年	摘要	仕 丁	借 方	平成〇年	摘要	仕 丁	貸 方
1 9	仕 入	1	7,000	/ /	前期繰越	✓	350,000
17	当座預金	〃	180,000	8	仕 入	1	590,000
				22	仕 入	〃	231,000

(2) (注意) 仕入帳と買掛金元帳は締め切ること。

仕 入 帳				1
平 ○ 年	摘 要	内 訳	金 額	
1 8	大 分 商 店 掛 け			
	A 品 500個 @ ¥ 700	350,000		
	B 品 300〃 〃 〃 800	240,000	590,000	
9	大 分 商 店 掛 け 戻 し			
	A 品 10個 @ ¥ 700		7,000	
22	宮 崎 商 店 約 手 ・ 掛 け			
	C 品 650個 @ ¥ 740		481,000	
31	総 仕 入 高		1,071,000	
〃	仕 入 戻 し 高		7,000	
	純 仕 入 高		1,064,000	

買 掛 金 元 帳						1
大 分 商 店						
平 ○ 年	摘 要	借 方	貸 方	借 また は 貸	残 高	
/ /	前月繰越		140,000	貸	140,000	
8	仕 入 れ		590,000	〃	730,000	
9	仕 入 戻 し	7,000		〃	723,000	
31	次 月 繰 越	723,000				
		730,000	730,000			

宮 崎 商 店						2
平 ○ 年	摘 要	借 方	貸 方	借 また は 貸	残 高	
/ /	前月繰越		210,000	貸	210,000	
17	支 払 い	180,000		〃	30,000	
22	仕 入 れ		231,000	〃	261,000	
31	次 月 繰 越	261,000				
		441,000	441,000			

4

(1)

3

(2)

a ¥ 8,520,000

b ¥ 5,490,000

(3)

a ¥ 410

b ¥ 57,000

5

(1)

	借 方	貸 方
a	仕 入 420,000	繰 越 商 品 420,000
	繰 越 商 品 470,000	仕 入 470,000
b	貸倒引当金繰入 53,000	貸 倒 引 当 金 53,000
c	減 価 償 却 費 140,000	備 品 140,000
d	資 本 金 60,000	引 出 金 60,000

(2)

- i 売上勘定の記録は、合計額で示してある。
ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

売 上		13
90,000		8,236,000
12/31 損 益 8,146,000		
8,236,000		8,236,000

(3)

貸 借 対 照 表

沖 縄 商 店		平 成 ○ 年 / 2 月 3 / 日	
資 産	金 額	負 債 お よ び 純 資 産	金 額
現 金	469,000	支 払 手 形	526,000
当 座 預 金	1,381,000	買 掛 金	978,000
売 掛 金 (1,900,000)		(借 入 金)	600,000
貸 倒 引 当 金 (57,000)	1,843,000	資 本 金	2,440,000
(商 品)	470,000	(当 期 純 利 益)	371,000
前 払 金	192,000		
備 品	560,000		
	4,915,000		4,915,000

(貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。)